

# チャペル週報

No.10

2015.6.8 ~ 6.12

わたしの魂よ、主をたたえよ。  
主の御計らいを何ひとつ  
忘れてはならない。

(詩編103編2節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 6月8日(月) 神 <説教学演習A> 今井圭介 (神学研究科M1)  
経 経済と人間① 豊原法彦 (経済学部教授)  
人 嶺重淑 (宗教主事)  
聖和 聖書物語 砂漠の中で  
理 関西学院室内合奏団 (2)
- 
- 6月9日(火) 神 新谷陽介 (文学部事務長補佐)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 世界と出会う③ 中道基夫 (宗教主事代行)  
法 音楽チャペル 関西学院聖歌隊  
経 “Meal for Refugees”を覚えて  
商 English Chapel David Roland Wider (宣教師)  
国 音楽チャペル ゴスペルクワイア “P.O.V.”  
聖和 田淵結 (教育学部宗教主事)  
理 前川裕 (宗教主事)  
総 明賀豪 (神戸三田キャンパス事務室職員)
- 
- 6月10日(水) 神 <奨学金授与礼拝>小豆真人 (日本基督教団東梅田教会牧師)  
法 English Chapel Mogens Amstrup Jacobsen (スウェーデン教会牧師)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
商 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
人 出合い⑥ 前橋信和 (人間福祉学部教授)  
国 井口治夫 (国際学部教授)  
聖和 田淵結 (教育学部宗教主事)  
理 前川裕 (宗教主事)  
総 Ruth M. Grubel (院長)
- 
- 6月11日(木) 神 「震災を覚えて」礼拝㊟ 神学部メガホンプロジェクト  
文 献血実行委員会  
社 世界と出会う④ 長松奈美江 (社会学部准教授)  
法 三位一体 Christian Hermansen (宣教師)  
経 「夏の献血週間」を覚えて 献血実行委員会  
商 木村愛 (経営戦略研究科職員)  
国 Mark Craig (国際学部准教授)  
聖和 主を畏れることは知恵の初め 宮田満雄 (元関西学院院長・元聖和大学学長)  
総 K.G. Blessed Choir
- 
- 6月12日(金) 院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)  
神 <キリスト教音楽に触れよう①>水野隆一 (神学部教授)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 経済と人間② 高林喜久夫 (経済学部教授)  
人 木原桂二 (北山バプテスト教会牧師)  
聖和 やさしい声とことばで 吉新ばら (キリスト教教育・保育研究センター)  
理 宣教師チャペル Timothy Dale Boyle (経済学部宣教師)
- 

◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂 (上ヶ原)  
6月12日(金) 研究推進社会連携機構のために 柳屋孝安 (研究推進社会連携機構長)

---

# 「志」ある学び舎

小 田 秀 邦

満開の桜やゴールデンウィークに別れを告げ、カレンダーはもう6月。新しい環境に身を置いて、あるいは何かしらの新しい役割を得、新年度からの2カ月を駆け抜けたひとは多いことだろう。わたしも職員として10年以上お世話になった神学部から、司法研究科（法科大学院）へ異動となった。

神学部と司法研究科って、全く違う環境でしょう？とよく言われる。4月からの働きにおいては、やはり右も左もわからない状態で正直戸惑うことも多い。しかし同時に、その設立理念に触れ、学生や同窓の方々とお話すると、大きな共通点にも気づく。そこにいる「志」ある人たち、である。司法研究科では、将来法曹として、困難な状況にあるひとの側に立ち、寄り添い導くために自らを鍛える人たちがいる。神学部では、牧会者として、教会をはじめとしたフィールドで、隣人に寄り添い導くために自らを高めようとする人たちが学んでいる。もちろんいずれの学部・研究科も、身に付けたスキルをもって、企業や公的機関などで活躍する人材も多い。

「同じ関西学院なもの」…はっと気付いた。教育研究へのアプローチは違っても、幼稚園から大学院・研究所まで、すべてに同じことが言える。誰かに寄り添い、貢献するために自らを鍛える、高める。それは第4代ベーツ院長が提唱された“Mastery for Service”であり、またそれを体現するためには、第2代吉岡院長が「聖書と礼拝なくして学院なし」とおっしゃったように、学院に受け継がれるキリスト教主義と、それに裏打ちされた倫理観が欠かせないのだ。

学院のキャンパスのひとつである西宮上ヶ原には、230種5万本以上の木々が生育しているという。これまで様々なひとにより種が蒔かれ、“多様性”という森を形成してきたその土壌には、キリスト教主義が脈々と流れている。

多様性のなかで培われてきた倫理観を礎に、将来他者に寄り添い導く強い「志」をもって働き、学ぶ人たち。さて、自身はどうか…。

“いまの自分”についてふと考える。抽象的な想像を廻らしながら、では具体的に何をなすべきか？どのような志をもつべきか？上下左右にアンテナを張って、気負わず探していこうと思う。

（司法研究科事務室職員）

### ●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月10日(水) 関西学院聖歌隊

6月11日(木) 関西学院ゴスペルクワイア “Power Of Voice”

いずれも12時50分～13時20分

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催:宗教センター・宗教音楽委員会

### ●関西学院大学主催 春季人権問題講演会 「誰も排除されない社会をめざして」

～ひとりひとりを大切にするダイバーシティ社会とは?～

\*とき:6月10日(水)13:30～15:00

ところ:図書館ホール(西宮上ヶ原キャンパス)

\*とき:6月12日(金)13:30～15:00

ところ:II号館102号教室(神戸三田キャンパス)

講師:田村太郎氏(一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)

※手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

人の多様性に配慮のある取り組みを地域や組織で進めていく「ダイバーシティ社会」への関心が高まっています。ちがいを受け入れ、対等な関係を築こうとしながらも全体として調和が取れている「ダイバーシティ社会」のあり方を、阪神・淡路大震災での外国人被災者支援を機に、ちがいに不寛容な社会のあり方を変えようとさまざまな活動に取り組んできた経験をもとに整理し、誰も排除されない社会を実現するための具体的な一歩をどのように踏み出していけば良いのか、ともに考えましょう。

### ●オルガン音楽の泉 2015 Spring Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第2回 6月12日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第3回 6月23日(火) 瀬尾 千絵(日本基督教団 神戸教会オルガニスト)

第4回 7月1日(水) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12時50分～13時20分(12時40分開場予定)

ところ:関西学院中央講堂

問合せ:宗教センター

### ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

6月主題:「ペンテコステ(聖霊降臨祭)を覚えて」

6月11日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

6月18日(木) 田淵 結(宗教総主事)

6月25日(木) 舟木 讓(大学宗教主事)

### ●春の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期間:6月22日(月)～26日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主催:宗教総部献血実行委員会

### ●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。どなたでもお気軽にご参加ください。

6月22日(月) 献血チャペル(仮題)

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)10:35～11:05

\*ランバスチャペルアワー委員会は、共にチャペルをつくる学生を募集しています。

興味のある方は、吉岡記念館事務室・宗教センターに声をおかけください。